

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくランドたんぼぼ		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 5日		令和8年 2月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 5日		令和8年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団での活動はわかりやすく、お子さんが参加しやすい。お友達との関わり方を学び、お友達とやりとりできるようになる。	自由遊び時は、コーナーごとに遊びを設定している。それぞれのお子さんが興味を持って遊ぶことができる。	活動や遊びの中で順番待ち等のルールを教え、安全面にも気をつけていく。必要に応じて職員配置を増やして対応していきたい。
2	療育参加日での親子での活動を通して、家庭への般化につなげている。	保護者の要望をお聞きし、年間活動予定を組んで説明している。また、活動後に必ず振り返りを行っている。	更に保護者の意見を聞き、内容や時期を考慮していく。希望者には食事指導や歩行訓練等を療育参加日以外の日に設定し、行っていく。
3	ホールは床暖房になっており冬でも裸足で活動できる。お子さんが裸足で活動することで足裏からの刺激が入る。全身を使う運動を積極的にを行い、身体づくりに励んでいる。	身体づくりとして、グループダイナミクスに毎日取り組んでいる。雑巾がけや定期的に取り組んでいるリズム運動、感覚運動等で良い成果がみられている。	療育参加日で保護者さんにお子さんの身体のことを知ってもらおうと共に年間を通じて変化を感じて頂く。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	庭のウッドデッキが老朽化している。	ウッドデッキでは遊ばないようにしている。庭の他のスペースでも十分遊ぶことができている。	補強をすることとプランター等を置いてその上を歩かないよう工夫していく。
2	保育所、幼稚園を併用して利用するお子さんが増えたため、2～3週間で同じ活動になってしまうことがある。	同じ活動内容であっても道具を工夫する等している。また、繰り返し行うことで習得できるお子さんもいると感じている。	利用回数の少ないお子さんは年間を通して行っていない活動もあるため、時々チェックをして様々な活動に取り組みできるようにしていく。
3			